

Mランドニュース Vol.215

丹波ささ山校 令和7年3月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 近藤 正幸
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

人生二度なし

森 信三先生

四十七歳
日々是新(ひびこれあらた)

共習チームリーダー
長谷川 泰之

「長谷川君は、去年一年が長かったですか、短かったですか？」

私がMランドに入社して間もない頃のこと、生前の小河二郎会長に新年の挨拶に行くと、開口一番このように尋ねられました。私は

「短かったように感じます」と答えると、会長は

「それは君が何もしていないからです。もっといろんなことに挑戦しなさい」とバツサリ。仕事を言い訳に、様々なことから逃げていたことを反省した次第です。

今年のMランドの定性目標は、「詩」とことんこだわります。これまでも自分なりにこだわりを持って仕事をしてきましたが、どれもそれなりでしかなかったと感じます。例えば挨拶。ロビー等でゲストに挨拶をしても挨拶が返ってくることは少なく、最近の若者はくど釈然としない気持ちになっていました。しかし、小河吉彦会長の講

話を拝聴し、挨拶は相手に合わせて声の大きさ、相手の状況等を考慮して行うという、ごくごく当たり前のことが出来ていなかったことを痛感しました。事実、相手に合わせて挨拶をすると、ほとんどの場合挨拶が返ってくるようになりました。

入社してもう十七年。

遅々たる歩みではありますが、自分を変えようと様々なことに取り組んできました。今年は巳年。再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していくといった意味があります。一日一日気持ちを新たに、今年一年、長くて大変だったけれど楽しかったと言えるように頑張ります。



卒業検定合格発表の様子

笑いあり、涙あり

合宿免許

営業部長

近藤 正幸

ある日、合宿滞在中の高校生三人組の女性ゲストが、受付に相談にやってきました。きっかけは、お部屋でのちょっとしたトラブル。その日を境に、彼女たちは受付にちょくちょく顔を出してくれるようになりました。

「学科教習が眠たい」「寝ている彼女を起こすのが大変」「試験、ちゃんと受かるかな?」「教習車のエンジン音が目覚まし代わりになりそう!」

そんな何気ない会話を交わしながら、彼女たちはいろいろなインスタクターともすぐに打ち解けていた印象です。誰にでも親しみを込めて話しかける姿が印象的でした。そんな彼女たちは、しっかりと日程通りに卒業されました!

ある日の昼休み、食事する間を惜しんで彼女たちは自転車を全力でこいで、近くにある一〇〇円ショップへ。目的は毛系の購入。

「何に使うの?」と聞くと、意外な答えが返ってきました。「お母さんの誕生日が近いので、プレゼントを編もうと思って!」生花は枯れてしまふから、ずっと残る毛系の花束を贈りたい...そんな気持ちで、授業の空き時間や宿舎で一生懸命編まれていました。いい話だなあと感心しておりました。

そして、卒業検定の日、彼女たちはさらなるサプライズを用意していました。

「お世話になったインスタクターさんに、プレゼントです!」

差し出されたのは、毛系で編まれた印鑑ケース!それぞれインスタクターをイメージしたマスコットのようなデザインで、口から印鑑が出し入れできる仕様。そして、インスタクターの頭文字がしっかりと編み込まれていました。

「これ、私たちの手作りなんです!」突然のプレゼントに、みんなびっくり!「えっ、こんなのもらっていいの?」と照れながらも、満面の笑みを浮かべていました。

ちなみにちゃっかり私もいただきました(笑)。



キーフック付き



卒業検定当日に!!



毛系の花束

十三日間という短い期間でしたが、彼女たちとの思い出は私たちにとても特別なものになりました。これからも、たくさんのお客様を迎えますが、こんな温かいエピソードを楽しみにしながら、繁忙期を楽しく乗り越えていきたいと思えます。卒業おめでとう。そして、ありがとうございます!

お蔭様で十六周年

平成二十一年一月にMランド女性専用ホームとして二棟目にオープンしたコンスタンツェは、今年で十六年目を迎えます。コンスタンツェの命名の由来は、あの癒しの音楽を数多く作曲した音楽家モーツァルトの妻の名前です。彼の名曲を高めるために尽力した女性です。

温泉を思わせる岩風呂も完備し、シングル・ツイン、そして五名様グループのお部屋「山百合」が、仲間と語り合うくつろぎの場所として現在も多くのゲストに利用いただいております。たくさんのお客様を見守り、Mランドでの滞在中の挑戦・成長がこれからの人生に役立ちますことを願い、応援しています。



コンスタンツェ外観



自慢の岩風呂

地域と共に成長

共習・共育部長

南勝 宏幸

昨年六月三日〜七日(五日間)に実施した丹波篠山中学校「トライやる・ウィーク」の活動報告集をいただきました。「トライやる・ウィーク」は丹波篠山市内の中学二年生を対象とし、例年、丹波篠山市内の企業と連携し実施されています。

昨年は六十四社の企業の中からMランド丹波さき山校にも五名の中学生にお越しいただいたことは、Mランドニュースでもお伝えさせていただきましたが、新年に入り、生徒たちの想いが詰まった立派な冊子をいただき、本気で頑張った生徒たちの

思いを感じ、感動いたしました。

その中で、Mランド丹波さき山校で五日間参加していただいた竹内奏都さんのご感想を紹介させていただきます。

「コミュニケーションの大切さ」(お客様との信頼関係)

自動車教習所付近の道路のゴミ拾いに行きました。ここでは出会った人に大きな声で挨拶をしたり、積極的にコミュニケーションを取ったりしていました。ゴミ拾いや、出会った人に挨拶をしていると、こちらもいい気分になり、お客様のため(相手のため)に行くという意思が感じられ、人に気遣いをするようになります。私は、このトライやる・ウィークを通して、コミュニケーションを大切にできる人になろうと思えました。

このような感想をいただき、トライやる・ウィークの意義と若い方々にどのように良い影響を与えられるのか? Mランドでの経験を、今

だけではなく一生の宝物として持って帰ってもらいたい、と願うカリキュラムを考えましたが、ひとつでもお役に立つことが出来れば幸いですし、私たちが学びを得る方が多かったのではと改めて感じます。

これからも、地域の皆様と共に有意義な人生を送れるよう努力してまいります。

Mランドからの贈り物

立春寒波もようやく落ち着きを見せ始めたものの、まだまだ芯から冷える丹波篠山。

そんな寒さも吹き飛ばすような、熱気あふれるMランドでは、例年以上に多くのゲストをお迎えし、忙しくも楽しい日々を送っています。



外は底冷えがする寒さです

ありがとうカード
バレンタインのチョコ、ありがとうございました。
今年は合宿中でバレンタインは楽しめないかな...と思っていたのでとても嬉しかったです。
もらったチョコで糖分を補充しながら学科の勉強を頑張ります!!
齋藤 タ奈

さて、二月十四日といえば、年に一度のバレンタインデー。Mランドでは、この特別な日に、ゲスト一人ひとりに、感謝の気持ちを含めたプレゼントをご用意しました。甘いチョコレートとクッキー。そして、インストラクターが心を込めて書いたメッセージ!

当日の朝、入口でゲストの皆様一人ひとりに手渡されました。

ゲストの皆様からは、喜びの声が続々と。中には、お目当てのインストラクターのメッセージを選んで、嬉しそうに眺めている方も(笑)。

そんな会話があちこちで聞こえ、Mランド全体が温かい雰囲気になりました。受け取ったゲストからのメッセージを紹介させていただきます。

バレンタインデーという特別な日に、皆様の笑顔を見ることができ、私たちも幸せな気持ちでいっぱいです。
Mランドで過ごす時間が、皆様にとって素敵な思い出となりますように。



朝からハッピー



メッセージ付き

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか?

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。